東京都海技職・漁業調査指導船のご案内（小笠原）

～ 東京の広い海をあなたの職場に ～

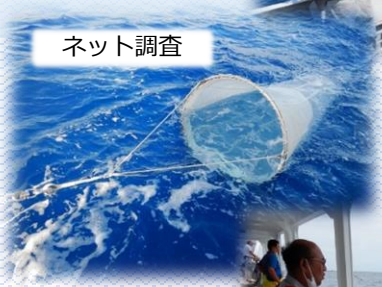
事業紹介は
こちらから

漁業調査指導船『興洋』とは？

東京都では、島しょ農林水産総合センター大島事業所に所属する**みやこ・やしお**、同センター八丈事業所に所属する**たくなん**、小笠原水産センターに所属する**興洋（こうよう）**の全４隻の漁業調査指導船を活用しながら、東京都の海域における水産資源や海洋環境の調査・研究、漁業の普及や指導に取り組んでいます。
小笠原諸島の海域は、日本の排他的経済水域の約３割を占める広大な海域です。そのうち**小笠原海域（聟島、父島、母島、火山列島海域）～沖ノ鳥島海域**を「興洋」が担っています。
その主な業務として、

- ◆小笠原近海18定点の水温・透明度測定などの海洋調査
- ◆ネット調査やたて縄調査によるアカイセエビ・メカジキなどの生態調査
- ◆密漁防止などのための漁業取締
- ◆マルチビームソナーによる海底地形の調査

などを行っています。



「興洋」の概要

事業所名	小笠原支庁 小笠原水産センター （東京都総務局）
所在地	東京都小笠原村父島
規　模	87トン　1,400馬力 乗組員９名その他５名 計14名 全長33.07m　幅6.00m

“海技職”の業務とは？

漁業調査指導船の乗組員として、船を運航するほか、運航計画や修繕計画を立てるなど運用管理を行うことが海技職の主な業務です。調査研究を行う研究員と調査研究のための調査を行う海技職のチームワークがとても重要です。また、海技職は大きく**「甲板部」「機関部」「無線部」**に分けられ、それぞれの役割に応じた業務を行いますが、興洋では甲板業務や調査業務については全員で協力して行います。

海技職のある一日のスケジュール

航海士

06:30　起床、朝食
08:00　出勤、底釣り調査のための漁具や餌を準備
08:15　出港準備
08:30　出港
08:45　昼食仕込み
09:30　漁場到着、底釣り調査開始
10:50　昼食仕込み
11:30　昼食
12:30　底釣り調査再開
15:00　底釣り調査終了、帰港
16:30　入港、船内掃除、明日の調査準備
17:00　船内でミーティング
17:15　退勤
18:00　野球の練習
20:00　入浴、夕食
23:00　就寝

機関士

06:30　起床、朝食
08:00　出勤、機関の点検や電源切替
08:15　エンジン始動
08:30　出港
08:45　機関の動作確認
09:30　漁場到着、底釣り調査開始
11:30　昼食
12:30　底釣り調査再開
15:00　底釣り調査終了、帰港
16:30　入港
17:00　エンジン停止、船内でミーティング
17:15　退勤
17:30　磯でアオリイカ釣り
20:30　帰宅、釣ったイカを調理
21:00　入浴、夕食
23:30　就寝

先輩職員からのメッセージ

白倉 聡　<興洋 一等航海士>
平成24年度入都

私は、漁業調査指導船「興洋」の一等航海士として勤務しています。
「興洋」に乗船し、海洋観測、漁業調査などを行い、漁業者に役立つ情報を得ることが仕事です。航海士としての当直や操船はもちろんのこと、調査に必要な機器の操作や漁具を用いた漁労も行います。航海に出ない日は、次の調査の準備や船の整備を行っています。
小笠原は、一年中暖かくてとても過ごしやすいです。休日は、のんびりと子供と一緒に海で泳ぐなど、リフレッシュに事欠きません。
「興洋」は少人数の船ですので、機関士や通信士も甲板業務を行っており、船員全員のチームワークが不可欠です。自分たちの仕事が都民のため、そして子供たちの未来につながるように、一緒に有意義な船にしていきましょう！

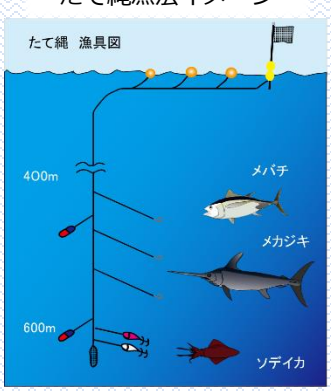
「興洋」の主な功績

❶小笠原式深海たて縄漁法の開発

興洋による試験操業を経て、ソデイカ漁法を導入するとともに、さらにこれを改良し、メカジキやマグロも漁獲する漁法を開発しました。小笠原漁業の現在の主力はこの漁法で獲れるメカジキです。

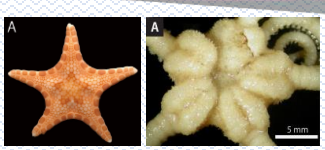
漁獲したメカジキ

たて縄漁法イメージ



❷新種の棘皮動物の発見

国立科学博物館との共同で深海生物調査を実施し、新たな棘皮動物を発見しました。
これらは「コウヨウアカモンヒトデ」（写真左）、「コウヨウモアナモヅル」（写真右）と名付けられました。



左：Mikihito Arai and Toshihiko Fujita from Species Diversity 26:7-21(2021)
右：Masanori Okanishi and Toshihiko Fujita from Zootaxa 2751:25-39(2011)　より引用

“小笠原” はどんなところ？

東京から南へ**約1,000㎞離れた小笠原諸島**。内地と小笠原を結ぶ唯一の交通手段は、概ね６日に１便、東京の竹芝桟橋から片道24時間かけて運航される**定期船「おがさわら丸」**、通称「おが丸」に限られています。小笠原諸島で人が住んでいる島は父島と母島の２島ですが、ここでは赴任場所となる**“父島”**を中心にくらしと魅力を紹介します。

定期船「おがさわら丸」

小笠原のくらし

気候・天気	年間を通じて気温の変化が小さいので過ごしやすく、最高気温は夏で32度、冬で20度くらいであり、真夏は内地より気温が低いです。ただ、日差しは強く、湿気は多いです。ちなみに、海開きは１月１日で日本一早く、ほぼ１年中泳ぐことができます。
公共交通機関	島内は公共交通機関は村営バスのみです。多くの人が自家用車、バイク、自転車で移動しています。ほとんどの施設は中心部にあり、島内の主要スポットは車やバス15分程度で行くことができます。
通信環境	光ファイバーが開通しており、インターネットは快適に利用できます。携帯電話の電波については、島内の中心部から離れたエリアで受信しづらくなります。
食料品・日用品	中心街に商店が２～３店舗あり、ここで食料品や日用品を購入できます。商品は１週間に１回程度のおがさわら丸で入荷されますが、入荷日は１週間のうちで最も商店が混雑します。インターネット通販も、一部対象外もあり届くまで日数がかかりますが、利用することができます。
医療機関	村営の診療所と民間の歯科医院があります。島内で一般的な診療を受診することができますが、対応できない怪我や病気の患者が発生した時には、自衛隊のヘリ・飛行機で内地の病院へ搬送されます。
教育・子育て	父島には小学校、中学校、高校のほか、保育園などの託児施設もあります。東京の島しょの中では子供も多く安心して子育てできる環境です。また、習い事の種類も、太鼓、フラダンス、英会話、スポーツ全般と多く、子供たちがのびのびと活動しています。
趣味・娯楽	自然豊かで、釣り、ダイビング、トレッキングを趣味にしている方が多く、スポーツや楽器などのサークル活動も盛んに行われています。飲食店も充実しており、お酒をたしなむ方も多くいます。

小笠原の魅力

小笠原諸島は、最後の秘境や楽園といわれる**“世界自然遺産”の島**です。
ボニンブルーといわれる透明で碧い海、クジラやウミガメ、彩り豊かな珊瑚や魚。
山や森には、小笠原だけで見られる固有種の植物や鳥。
夜空を見上げれば満点の星空が迎えてくれます。
市街地には南国らしいハイビスカス・バナナ・ヤシの木があり白い砂浜も目の前です。
散策スポットはたくさんあり、のんびりリフレッシュすることができます。

小笠原ならではの生活環境もあります。
内地から移住してきた人たちの寛容な島民性もあり、お互いに助け合う雰囲気があります。
生活サイクルは、曜日ではなく、おがさわら丸の入出港に合わせて回っています。
もう一つの有人島である「母島」は、父島から定期船「ははじま丸」で２時間です。
自然がさらに豊かで固有種も多く、父島とは一味違う魅力があります。

初任給・勤務時間・福利厚生等

初任給	高卒程度の場合　約200,400円　（令和４年４月１日現在） ※給料月額に、特地勤務手当、地域手当を加算したものです。 ※職歴等がある場合は一定の基準により加算されることがあります。 ※上記のほか、準特地勤務手当、扶養手当、期末・勤勉手当、運航日数に応じた船員勤務手当などが支給されます。
勤務時間	午前８時から午後５時15分まで（休憩：正午から午後１時30分まで） ※運航によってはこの限りではありません。
休　暇	年次有給休暇20日 妊娠・出産・育児に関する休暇、慶弔休暇、夏季休暇、介護休暇、ボランティア休暇、長期勤続休暇など
福利厚生	職員住宅に入居可能（徒歩約５分） 東京都共済組合： 医療保険、年金、福利厚生施設の運営など 東京都人材支援事業団： 生命・損害保険の取扱い、各種助成、貸付・給付金など

よくあるご質問にお答えします！

Q1　一度の航海はどれくらいの期間ですか？

基本的には日帰りです。調査の場所や内容によって異なりますが、午前８時頃に出港、午後４時過ぎに帰港し、その日の片付け、次の日の調査の準備をした後、解散となります。年２回予定されている沖ノ鳥島調査、漁協の依頼による硫黄島列島周辺海域の調査などの場合は、数日にわたる宿泊を伴う航海となります。

沖ノ鳥島の資源調査

Q2　水産センターには海技職の他にどのような職員がいますか？

研究職・海技職・無線職・会計年度任用職員で構成されています。漁獲したサンプルの測定作業や飼育棟（通称：小さな水族館）の生物の飼育・釣獲などの業務を行っています。海技職も、これらの業務を水産センターの各職員と協力して行うことがあります。

Q3　海技士資格を持っていなくても応募できますか？

海技士資格（航海４～６級、機関４～６級、電子通信４級）取得費用の全額または一部を補助する制度があります。採用後に甲板員や司厨員として勤務しながら海技士免許を取得し、その後一定の乗船履歴により船長や機関長を目指すこともできます。元教員や元ダイビングインストラクターが海技士資格を取得し、航海士や機関士として活躍しています。

Q4　海技士免許以外に取得できる資格はありますか？

フォークリフト、玉掛け、小型移動式クレーン、有機溶剤、研材砥石、アーク溶接など、船上や陸上の作業で必要な資格を取得することができます。

Q5　女性でも応募は可能でしょうか？

調査船の運航以外にも調査時の漁労作業など力仕事があるため、ある程度の体力が必要です。しかし漁労作業はチームで行うため、自分のできる範囲で作業できれば問題ありません。
また、船内には女性用の船室・シャワー室も完備されており、宿泊を伴う航海でも安心です。

Q6　東京都の他の島の調査船に異動することはできますか？

大島と八丈島に調査船があり、これらに異動することがあります。しかし、他の調査船の人事状況にもよるため、希望どおりに異動できるとは限りません。

Q7　職員用宿舎はありますか？どのような部屋でしょうか？

単身者用の１ＤＫ、家族用の２ＤＫがあります。水産センターから徒歩５分です。

水産センター全景

Q8　内地にはどれぐらいの頻度で帰ることができますか？

年休により航海に支障が出ない範囲で内地に帰省できます。また、年１回のドック（往復とも興洋で行きます）や資格取得では内地への出張があります。

問合せ先

東京都総務局小笠原支庁 小笠原水産センター
〒100-2101 東京都小笠原村父島字清瀬　電話 04998-2-2545

（令和４年９月版）